

おはなし会のお知らせ



木 10:30
図書スタッフのおはなし会
4/9 4/23



日 14:30
ボランティア『ウーフ』のおはなし会
4/5 4/19



場所：2F 世界の絵本コーナー

入場無料 入退場自由

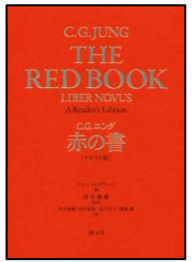
直接会場へお越しください。



企画コーナーのお知らせ

まっかっかなほんがまどのそばにならんでいる

～4.26.SUN



赤の書
(創元社)
146 1

美術展「コレクションをめぐる3つの時間」とのコラボ企画です。所蔵作家の書籍はもちろん建築書籍、さらに正田壤の絵本「まっかっかなむすめがまどからのぞいている」になぞらえて当館のありとあらゆる「赤い本」を展示しています。

そして、もうひとつのコラボ企画「なぞなぞ視力検査」も開催中です！ぜひチャレンジしてみてください。

休館日・館内整理日

2026	4						APR
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
⑤	6	7	8	⑨	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
⑱	20	21	22	⑳	24	25	
26	27	28	29	30			

■ 休館日 ■ 館内整理日 ○ 図書イベント日

☆館内整理日は図書エリアが休館となります。

1F ブラウジングコーナーはご利用いただけます。

開館時間

10:00～18:00

(1Fカフェ、ブラウジングコーナーは20:00まで)

※状況により、開館時間が変更になる場合があります。

ブックポストのご案内

西入口・駐輪場となりブックポストがあります。

閉館中はそちらへ返却できます。

大型本は開館日に図書カウンターまでお持ちください。



新年度がはじまりますね。

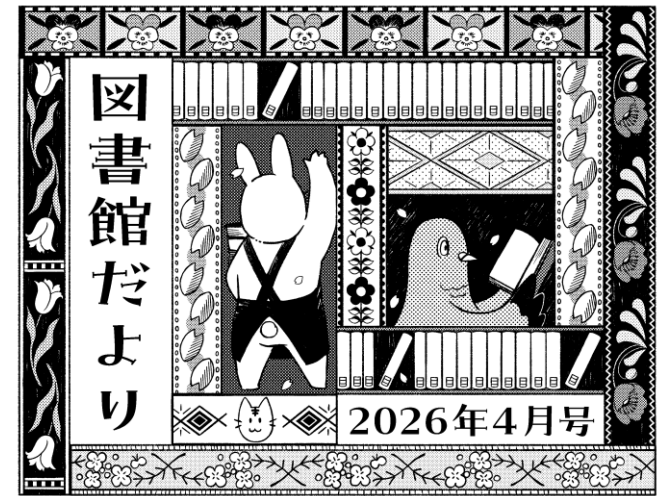
笑顔であいさつ
してみよう!

太田市
美術館・図書館
ART MUSEUM & LIBRARY,
OTA

太田市美術館・図書館

Tel: 0276-55-3036

<https://www.artmuseumlibraryota.jp/>



NEWS **学習席のご案内**

学習やPCができるお席をご案内します。
申請や利用時間等、使い方をマスターして
新年度に利用してみてください。

----- **8F レファレンスルーム** -----

レファレンスルーム内のカウンターで申請が必要です。
利用時間が1日1回2時間までです。

- ・飲食不可
- ・私語、ゲーム等のご遠慮ください。

----- **2F スロープ席** -----

申請なし時間制限なしで自由にご利用できます。

- ・ふた付きの飲み物のみ可
- ・コンセントの利用可
- ・立ち席へのイスの移動はご遠慮ください。

----- **駅なか文化館** -----

太田駅なか南口にあり、ギャラリーを中学生・高校生
の学習室として開放する日があります。

HPから学習室解放カレンダーを確認→

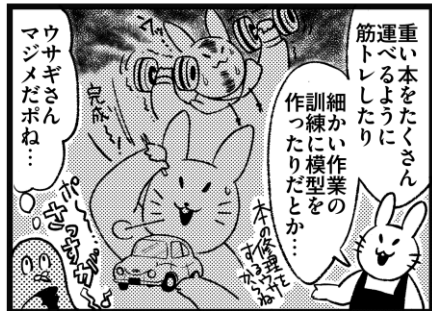
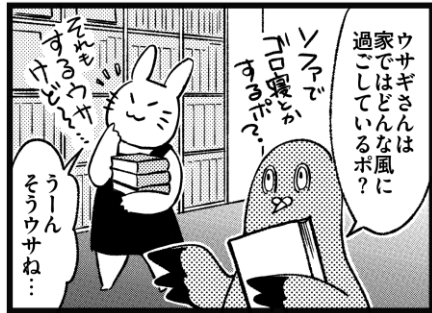
美術館のにちじょう

ウサギの図書館員の日課

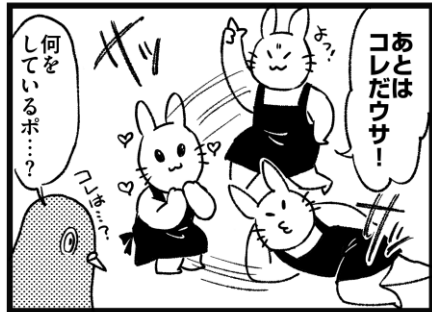
キ
ヤ
ラ
紹
介



図書館スタッフのウサギ。美術館・図書館のことならおまかせ！日々鍛練…でも、のんびりお昼寝するのも好き。



太田駅に住むハト。美術館・図書館をこよなく愛する。コーヒーを飲みながら読書する時間が大好き。



☆ウサギは今日も美術館・図書館で奮闘しています。



虹いろ図書館のへびおとこ
(河出書房新社)
J913 サ 1



小説税金で買った本 1
(講談社)
J913 ズ 1



ROCK 司書の図書館ライブ
(郵研社)
R010 オ



100万回死んだねこ
(講談社)
R015 7

4/30は『図書館記念日』。1950年のこの日に「図書館法」が公布されたことを記念して定められました。図書館の裏側、利用のしかた、図書館が登場する物語・エッセイなどなど…『図書館』をテーマにした本を集めてみました。図書館を知って、図書館をますます好きになってもらえたらうれしいです。



としょかんへいこう
(講談社)
EJ タカ



ぬいぐるみおとまりかい
(岩崎書店)
EJ オカ



はたらく図書館
(創元社)
EJ ヨクシ



戦場の秘密図書館
(文溪堂)
J016 ト



新しい、美しい日本の図書館
(エクスナレッジ)
R010 タ



本が大好きになる図書館の使い方
(秀和システム)
R010 ツ

写真、映画、マンガ、SNS...身近な視覚表現はどこからきて、どこへいくのか？ 視覚表現やメディア、その成り立ちや展開を整理していく断片的コラム。

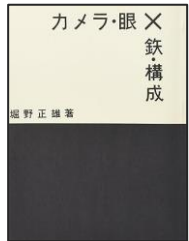
第2回

カメラ、眼

板垣鷹穂と機械芸術論

関東大震災からの復興にあった昭和の初頭では、新たに立ち並ぶビルや鉄橋といった環境の下、新しい美的価値として「機械美」が注目を浴びます。当時、「機械美論」を牽引したのは美術史家の板垣鷹穂でした。板垣は機械の持つ揺るぎのない合理性から「機械美」の性格を「機能美（速度や秩序）」や「形態美（明快さや複雑さ、あるいは構成的なもの）」に求めました。彼は機械の持つ美しさは絵画、映画、写真によって表現が可能であるとし、「レンズの持つ主観性」や「映画が持ちえない動かぬ状態の描写能力」から写真表現の独自性を見出します。そして写真家の堀野正雄と共同実験を行い、現代を表す合理的な「機械のリアリズム」に根ざした「新しい写真」を目指します。板垣は堀野との共同実験で自身の「機械美論」を深めていきますが、彼らの「新しい写真」とは展覧会の「芸術写真」ではなく社会に役立つ実用的な写真、つまり雑誌などに印刷され、より多くの人に見られるものと考えました。また、そのような「新しい写真」を通して一般社会人に対して「新しい美」の存在を広く啓蒙しようとも考えていたようです。このこともやはり「写真の社会性」という問題に通じて行きます。

参考文献



カメラ・眼×鉄・構成
(国書刊行会)
堀野正雄／著
748 二 3 禁帯

☆板垣と堀野の共同実験は雑誌掲載やいくつかの書物として発表された。これは実験の結果を堀野がまとめた写真集。